

学者村別荘地「山の家」の現状と改善策(案)について

◎現状について

学者村別荘地第1期「山の家」は昭和40年代の学者村別荘地開発当初には管理事務所として建設されました。その後、現在の総合管理センターが建設されて管理事務所としての役目が終わった後は、集会施設として活用されてきました。

しかし、建築より50年以上が経過し老朽化が著しい状況にあります。長和町の公共施設個別施設計画(令和2年度策定)のために劣化状況調査を行ったところ、柱を含めた建物全体の劣化が進んでおり「施設使用は望ましくない」との状況が判明しました。

「山の家」は学者村別荘地オーナー様の利用に供する大切な交流施設であります。しかし、「山の家」を存続させるために耐震工事も含めた改修工事について業者に調査を依頼したところ、大規模な改修工事が必要であり、改修には多額の費用がかかるとのことでした。したがって、改修ではなく取り壊しも含めた検討をしなければならない状況にあります。

◎改善策(案)

1.今年度中(令和4年度中)に総合管理センター機能を改善し、山の家機能を補完します

- (1)1階ロビーを、一時の休憩・相談室として使えるよう整備します。
- (2)2階和室を会議・会合に利用できるよう整備します。
- (3)事務室奥にある給湯室及びトイレを、災害時にはオーナーの皆様へ開放し、一時避難場所として利用しやすいよう整備します。

2.山の家広場にオーナー様の「憩いの場・集いの場」をつくれます

- (1)休憩や遊びに使える緑陰広場として整備します。
- (2)山の家広場に多目的に使える建屋(※東屋のような建物)を建設し、イベント開催や会合に活用できるようにします。

※令和5年度以降に実施予定の「山の家」解体を待たずに建設する予定です。